

## ごみ処理の有料化に関する説明会

1 日 時：令和3年7月15日(木) 午後7時～8時45分

2 場 所：三川コミュニティーセンター

3 出席者：26人

### 4 次 第

(1) あいさつ

(2) ごみ減量啓発動画の視聴

(3) ごみの有料化(案)の説明

(4) 質疑応答

Q：ごみの有料化により、増える収入、減る処理費はどのくらいか？

A：ごみの有料化により増える収入は1億4千万円。処理費は3千万円の減額。合わせて1億7千万円ほど、市の収入は増えることとなります。

Q：高齢化によりごみ出しが大変な人もいる。戸別回収や可燃ごみの収集か所を増やすことについて、見直すことはできるのか？また、資源ごみの立ち会いをする役員も高齢化しているので、収集方法を見直す考えはあるのか？

A：経費が掛かるので、可燃ごみの戸別回収までは無理ですが、収集か所を増やすことは十分可能です。ただし増やすには、地元の皆さんの理解をいただかなければできません。

資源ごみについては、国で「プラスチック資源循環促進法」という新しい法律ができ、プラスチックの収集方法を見直そうとしていますので、市では、その動向を見ています。

袋井市では、一番かさばる容器包装プラスチックを、週1回、別に集め、びん、缶など量の少ないごみは、月1回の収集にできないかと考えます。そうすれば、自治会の役員さんの負担を半分にできます。

いずれにしろ、可燃ごみ、資源ごみの収集とも、決定事項ではありませんので、またご相談させていただきたいと考えます。

Q：議会の報告書では、ごみの減量化と有料化を並行して進めるとある。しかし、実際は、有料化ばかり先行しているように思うがなぜか？

A：市の財政が厳しい中、ごみ減量に関しては、今まではお金も掛けずに、皆さんにお願いする形で進めてきましたが、それでは限界がありました。ごみ処理の有料化は、その収入により、お金を掛け、ごみを分別・リサイクルし、減量化を図っていきたいと考えているものですので、ご理解をお願いします。

Q：ごみ有料化の特別委員会では、その収入により行う減量化策について、具体的な議論がなされていなかったようだが、なぜか？

A：減量化策については、予算化もされていないので、特別委員会では具体的な議論を行えませんでした。今回は、説明会を何度かする中で、「有料化で得た収入で、どういった減量化策を行うのか示さなければ、理解できない」との意見が多く出されたので、あく

までも市の計画ということで、なるべく具体的な減量化策を示させていただいています。

**Q**：もっと早く説明すべきであった。この動画についても、もっと多くの人に見てもらい、理解を得ていくべきである。

**A**：拙速感があることは申し訳ありません。ただし、今回、決まったから説明させていただいているのではなく、有料化に対する皆さんのご意見をうかがうために、説明会を実施しています。もっと多くの人にとということについては、他の地区でも対応させていただいておりますので、何人かの集まりがあれば、ぜひうかがわせていただきます。

**Q**：プラスチックをごみに入れるのは、カロリーを上げ、使う燃料を減らすためではないのか？

**A**：確かにプラスチックのカロリーが高いのは事実です。しかし、ごみのどこにプラスチックが入っているのかは分かりません。ごみが燃えたり、燃えなかったりでは、処理がうまくできないため、助燃材のコークス（石炭）を安定的に処理できるだけ入れることとなります。そのため、ごみの量が増えたことにより、コークスの使用量は、むしろ増えてしまいます。

**Q**：有料化より、ほかにできることを先にやるべきではないか？

**A**：できることがあれば、先にやらせていただくようにします。ただし、温室効果ガスを46%削減するためには、有料化も行い、お金を掛け、ごみの分別、リサイクルを行った方が、より効果的だと考えておりますので、ご理解をお願いします。

**Q**：どのような施策によって、ごみの増加を人口の1%並としていくのか？

**A**：施策については、動画でも紹介いたしました①雑紙の回収、②生ごみ処理機の購入補助、③大型生ごみ処理機の共同導入、④草木のリサイクル、⑤容器包装プラスチックの分別の徹底といったことを行っていきます。ただし、申し訳ありませんけど、それぞれの施策によって、どれだけごみが減り、ごみの増加を人口の1%並となるかは考えておりません。

**Q**：有料化の近隣市町の状況はどうか？

**A**：30円値上げしたい理由は、動画でもご説明したように、一番費用対効果が高いからです。県内では、値上げ後の袋の値段が、川根本町が100.86円で、30円というのが今までの最高なので、もし39円としたならば、県内で一番高くなります。ちなみに、県外では東京都では80円、愛知では50円という所もあります。

**Q**：5年後に1割以上のごみの減量効果が出ているとのことだが、それ以上になるとまた元に戻ってしまうようなことはないのか？

**A**：そうならないためにも、有料化で得られた収入でごみの減量化を行うわけですので、そうはなりません。

**Q**：市内の中小企業や外国人向けにも広報すべきではないか。

**A**：事業者向けには、すでに先々月末、先月末に5回ほど実施しました。また、外国人向けには、8月29日(日)に行う計画です。

**Q**：他の地区の説明会で、どのような意見が出たのか、公開すべきではないか？

**A**：一昨日の今井地区の説明会の議事録やアンケート結果は、すでにホームページ上に載

せています。本日のものも、できるだけ早く、公開していきます。

**Q**：ホームページだけでなく、情報弱者にも伝えてもらいたい？

**A**：何か良い方法を、検討させていただきます。

**Q**：ごみの分別については、地域だけで行うのは難しい？できれば、収集日に指導も行っていただきたい。

**A**：ここ2年間、環境美化推進委員の研修会をコロナで行えていません。ただ、ご希望があれば、今年も市内で2か所ほど、ごみ分別の講習会を行わせてもっておりますので、ぜひお声掛けください。収集日の指導については、検討させていただきます。

**Q**：雑紙のリサイクルはすぐに行えるのか？行えるなら、広報すればどうか？

**A**：古紙の駅でも回収を行っております。この近くであれば、イオンで出せます。雑紙を回収している場所は、市のホームページで分かりますので、そちらでご確認ください。古紙の駅でのリサイクルは、すぐにでも行えますので、広報させていただきます。

ただし、古紙の駅は、リサイクルできない紙が多いため、分別が大変です。我々が考えているのは、汚れた紙以外は、全てリサイクルできますというものですけど、収集費用が1,000万円以上掛かってしまいます。こちらは、すぐにはできませんけど、有料化に合わせて、実施していきたいと考えています。

**Q**：「買いためは必要ありません」と書いてあるが、1年間使えるのであれば、その分買いためをしてもいいと容認しているのではないか？表記の仕方が変ではないか？

**A**：どこの市でも、有料化の際、買いためが起こっています。ただし、1年間は使えますので、その分を買いためするのは仕方ないとしても、それ以上の買いためは無駄ですよとお知らせさせてもらっています。ご指摘のとおり、書き方につきましては、検討し、工夫させていただきます。

**Q**：現在、森町と袋井市のごみ袋の値段が違うのはなぜか？

**A**：森町は、既に有料化を行っておりますので、袋井市よりは若干高いです。

**Q**：新しいクリーンセンター建設のための積み立ては行っているのか？

**A**：行政はそういった積み立ては一般的には行わず、お金を借りて建てて、後から返すといった形である。

**Q**：一宮の最終処分場の埋め立て終了後の対策はできているのか？

**A**：一宮最終処分場終了後は、民間でと考えています。自分のところのごみは、自分のところで処理するのが原則という考えがありますが、金額だけで言えば、民間で処理した方がはるかに安いです。そのため全国的に、苦勞して自前で最終処分場を建設するのではなく、民間で処理という傾向となっておりますので、袋井市もそうしたいと考えております。

**Q**：中国が輸入をやめたため、古布の回収が行われなくなったが、現在もそうか？

**A**：以前のように、古布の回収は行われておりません。まだ着られる服であるならば、旧の消防署の交差点の北東にある「キングファミリー」で受け取ってもらえます。

※現在、下山梨の古紙の駅で古布の回収をしています。

Q：ごみ袋の材質を丈夫なものにできないか？

A：同じような要望を多くいただいておりますので、材質については見直しを考えています。

Q：草木をコンテナで回収するのは、ぜひやっていただきたい。

A：今までは、自治会の奉仕活動などの際には、コンテナを置かせていただきました。今回行いたいのは、ご家庭で出た草木について、大体出てくるのがお祭り前とか、夏の時期とか、ある程度決まっているので、ご希望により、コンテナを設置し、それらを回収したいと考えています。